

人口動態

(3月1日現在)

世帯数	22,390	(+ 17)
総人口	105,243	(+ 194)
男	50,080	(+ 131)
女	55,163	(+ 63)
出生	209件	死亡 94件
転入	376	転出 297
婚姻	56	離婚 11

会津若松

市政だより

昭和26年7月6日第三種郵便物認可

191号

昭和40年3月15日発行
発行所 会津若松市
発行人 竹田 正夫
編集 広 報 係
定価 5 円

毎月1日・15日発行



とじて保存しましょう。

年間四十億円の生産を誇る会津漆器は、今や国内だけではなく海外にも大きく伸びようとしております。

三百六十年の伝統産業だけあって、市内には名人芸の技術者も多勢いますが、いずれも高令者ばかりです。若い後継者の不足が会津漆器の最大の課題のようです。

その中であって、会津漆器の名声を一層高めようと漆器の各分野にわたり研究し合っている若い人達がいいます。

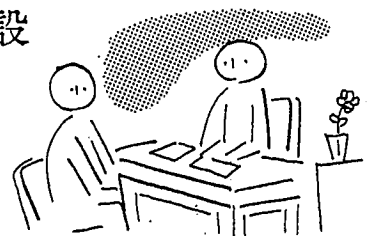
市内漆器店の若い人達五十人で毎週金曜日午後七時から、県芸芸試験場に集り、技術の向上、デザインの研究とともに加工度の高い商品を作ろうと、実際に製品を作り技術をみがいています。

工芸試験場の技師を中心に、相互に技術の向上を目指すこれ等の若い人達の力強い努力と明るい雰囲気は、最近、高級漆器の需要が高まっていることと共に、会津漆器の明るい将来を約束しています。

戦傷病者、戦没者遺族等援護法などの相談会開設

■ 日 時 3月22日 自午前10至午後4時
■ 場 所 市公民館 2階

なお、くわしくは市役所福祉事務所までお問合せ下さい。



3月定例市議会開かる

——予算額12億3千万円——

昭和40年度の当初予算などを審議する3月定例市議会は、3月11日に招集され、20日間の日程で開会されました。



施政方針をのべる横山市長

十一日午後一時本会議において、横山市長の施政方針演説があり、昭和四十年の当初予算を中心に四十三議案に対する提案説明が行なわれました。

提案された四十年度の予算額は、十二億三千萬円で今年度の当初予算にくらばますと二億六千五百萬の増となります。

四十年度の主な事業としては、三十九年度より継続して行なわれているゴミ処理施設建設費、五千三百三十五萬余円、国民宿舎建設費、九百五十七萬円などがあります。

この外、神明通り駅前間の道路開設事業費三千六百萬円、基地公園造成のための道路整備費二百十萬円、

黒岩 橋本線の新設事業費 百八十万円、学校プール建 月議会については次号、四九百二十萬円、市営住宅建設費九百七十八萬円などが月一日発行でくわしくお知らせ、改良住宅建設費八千八百計上されております。(三らせいたします。)

横山市長、施政方針を演説

三月十一日の本会議から 概要

地方財政の運用については、厳しい前途が予想されますが、極力管理の経費の節減と効率化を図り、長期の視野に立脚した財政運営を企図し、財政構造の合理化を促進し、健全な均衡財政を堅持する方針であります。

地方財政の運用については、備のために、下水道の完備、機械貸与、店舗改造資金の貸付制度や資金の保証金融制度に加え、市場調査、販路開拓など強力に推進する考えであります。

また漆器工場団地の育成には、能う限りの援助をし、これを契機として、中小企業の協業化、協同化を促進し、経営基盤の確立を図ります。

文教施策

文教を刷新して健全な青少年の育成と人的能力の開発に努めます。これがため学校教育、社会教育を充実し、特に学校教育においては、全国的水準を上廻る本市児童の学力を一層高めるための適切な施策として本年度も引き続きプログラム学習を実施する考えであります。一方科学教育、道徳教育の振興に力を注ぐと共に、体育の向上を期するため、施設の充実に特段の配慮をなし、更に施設管理、運営管理を一元化し、その効率をあげます。

生活環境の整備
水道拡張事業は、配水管敷設工事順に進み、給水能力と給水区域を拡充し、市民の福利に寄与しつつあります。生活基盤の整備は、本年度より約九億円を要する大町土地整理事業とあわせて実施認可を得た中央幹線道路の建設事業をすすめることと併行して本市中心部に公園緑地帯などを設けるほか事業区域内の既存墓地を、新たに大塚山周辺の静かな地に整理し近代墓地公園を造成します。

次にゴミ処理施設の建設は、継続事業として第二次を迎え、着実にその進捗を計ることとし、住宅については低家賃住宅を含めた市営住宅の建設など市民生活と住宅事情の実態に即して、意欲的に進める所存であります。

生活環境の整備

本市産業の振興
中小企業については、企業の合理化、設備の近代化を図り、高度経営に導くことが喫緊の要諦であります。

次に観光ルートと施設の整備であります。従前か

市民相談コーナー

質問
川にゴミを捨てない運動を、婦人会などで呼びかけていますが、さっぱり徹底しないので市当局も、協力していただき市民運動にまですすめてもらいたい。

回答
川にゴミを捨てない運動につきましては、これまで市当局としても再三再四にわたり市政だよりやチラシ等をもって不法投棄防止を呼びかけ、その他広報映画による「ゴミのない街づくり」等を、上映PRにとめていますが、さっぱり徹底いたしません。本年は保健所並びに警察署にも呼びかけ、共同運動をだいたいの展開するように、目下計画中であります。

なお参考までに申しますと、ゴミ焼却場の建設も決定しております。

鶴ヶ丘の住宅改良事業もすでに全計画の七割を達成しましたが、市民生活の根拠である住宅の改良は、本年度も引き続き実施します。医療保健たる国民健康保険給付については、新年度より家族に対する七割給付の平年度に伴い、本年一月一日より実施された医療費の緊急正金による生ずる給付額の急激な増高はいきおい医療費の保険者負担分の増額となります。

これが対策として保健施設活動を積極化し、予防と

早期治療を促し、極力医療費の上昇を阻止します。

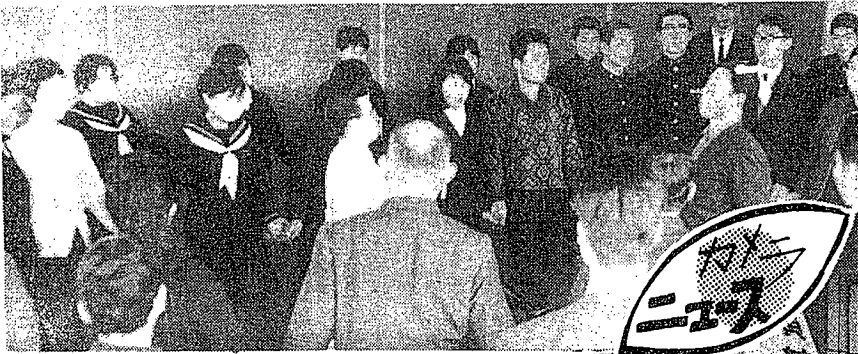
次に予防衛生の分野における伝染病予防接種については、従前接種の費用は市民の負担でありましたが、全額市費負担の措置を講じます。

次に消防施設、消防力の充実整備については、西消防庁舎などの建設をはじめこれと関連して、人的、物的施設の強化を図ります。

一方生活保護、老人福祉、児童福祉、心身障害者福祉など各種の福祉対策については一層の充実を図り、社会福祉の向上に努めます。

■名士演芸大会開かれる

↓
天守閣建設資金造成の名士演芸大会が7日午後1時4時、7時の3回にわたって市民会館で開かれました。これには横山市長をはじめ多くの人が出演して民謡、踊り、漫才などのかくし芸が披露され、超満員の観客からさかんな拍手をあげていました。



■みんなでゲームの講習会

↑
子供会の育成をはかろうと9日午後1時から子供会実技指導者講習会が公民館で行なわれました。この日はフォークダンスや歌、ゲームの講習で、そこには笑いや、楽しさ、そして人間同志の暖かい心のふれあいがありました。



ライシャワー大使来若

夫人と会津の史跡を見学

ライシャワー駐日アメリカ大使夫妻は、日米親善と一箕中学生十一人による詩吟と剣舞を鑑賞、拍手をおこられました。続いて白虎隊士の墓前に焼香、自刃の地から市街をみたあとと御葉園に車を走らせました。

駅頭には横山市長夫妻、高橋市議会議長夫妻ら市民約二千人が出迎え、大使一行八人を歓迎しました。

この日の本市は久しぶりに快晴。駅頭の大歓迎にうらやまされ、一行はすぐ飯盛山に向かいました。飯盛山ではまず白虎記念館に立ち寄り、早川館長から明治（会津若松史編集部長）の戊辰戦争の説明を聞き、館内にある武器や遺品を熱心に見学しました。

廊下橋から山口孝平氏（会津若松史編集部長）の説明をうけながら本丸に入館内にある武器や遺品を熱心に見学しました。

山ではまず白虎記念館に立ち寄り、早川館長から明治（会津若松史編集部長）の戊辰戦争の説明を聞き、館内にある武器や遺品を熱心に見学しました。



白虎隊士の墓を詣でるライシャワー大使夫妻



は九月に完成した。主松平容保は、京都守護職として活躍し、また戊辰戦争では西軍を迎えて大会津藩の賞録を示したことは周知の如くである。このように会津藩の明治維新史における動向を、客観的に叙述したいと考えている。いわゆる王政復古史観的な立場を克服して、真に客観的でありたいと念願するものである。史料に不十分なものがあるので、その点郷土の各位の援助を期待する。

者であるラ大使は、説明者の山口氏に専門らしい質問を行ない、会津一帯にとって忘れがたい悲劇の鶴ヶ城落城物語語りといまに残る城跡の規模の大きさと美しさに深くうなずいていました。

会津若松史 執筆者紹介

東京大学史料編纂所 小西 四郎

会津藩が、明治維新史上に果たした役割には極めて大きなものがある。藩主松平容保は、京都守護職として活躍し、また戊辰戦争では西軍を迎えて大会津藩の賞録を示したことは周知の如くである。このように会津藩の明治維新史における動向を、客観的に叙述したいと考えている。いわゆる王政復古史観的な立場を克服して、真に客観的でありたいと念願するものである。史料に不十分なものがあるので、その点郷土の各位の援助を期待する。

4月20日 第2巻 配本

会津若松史

第二巻 近世1

歴史の潮は怒濤となって荒れ狂い、戦国争乱から近世初頭に至る六十年の巨大な歩みは、会津の地図を次々に塗り替えていく。

そして、徳川政権の確立を背景とする会津藩制は、文教・経済の施政を二つの柱として急速に成熟への道をたどった。

かくて「会津」の原型は生れ、築かれた。

■ 会津に関する全国の資料を初めて集成し、近世初頭の会津を克明に描写。

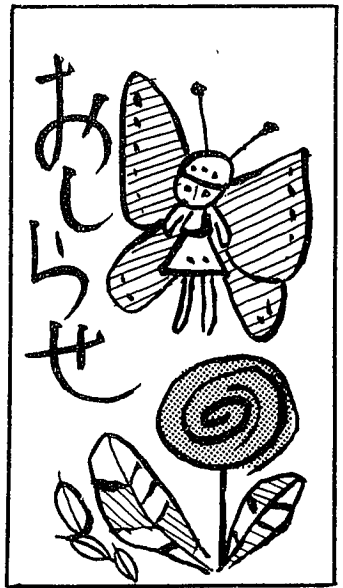
■ 歴史愛好家の糧となり道標ともなる地方史の決定版

■ 内容理解に必要な 百五十点の写真と図版と、さらに色版を使って解説。

「会津若松史」の第二回配本は執筆担当の先生々が過労に倒れ、あるいは手術で入院されるなど、史料調査に着手以来の強行スケジュールがたたって、かなりおくれしました。

読者のみなさんには、本当に申し訳なく存じますが、すでに組みを終った原稿は、先生方のご苦心の結晶だけあって、比類のない出来栄となりました。

四月二十日から、いよいよこの第二回配本を開始いたしますので、いましばらくご辛抱願います。



20日から日本美術史入門講座

我々に失われつつある人間性の回復と、心ゆたかな生活を求めて企画したこの講座の第一期「建築・彫刻」は多数の参加者を得て好評を呼びましたが、さらに充実を願って第二期「絵画・工芸」を開講します。

ユニークな入門講座として広く市民、学生などの参加を公民館、会津文化協会では望んでいます。

講師：国立博物館 荒川浩和氏、福大 青津清喜氏、高瀬喜左衛門氏、荒川三郎氏、石山富彦氏

内容：日本工芸の歴史・漆工芸の歴史・絵画の歴史・明治、大正、昭和の絵画史・現代絵画（解説と鑑賞はスライドを使用）

期口：三月二十日から四月二十四日まで 毎週土曜日六回連続

時間：午後七時から九時三十分まで（三月二十日は六時三十分から）

会場：市公民館二階

参加料：百円（テキストその他）

申込み：市民館または会津文化協会事務局（市南紺屋町十三佐瀬方）

国民年金保険料の納付方法が変ります

昭和四十年四月から今までのスタンプ方式をやめて納付書方式に改めることになりました。お手元にある「国民年金手帳」は全部市役所で保管することになりましたから至急市役所保険年金課または、支所、連絡所へお持ち下さい。

▼今までの取扱い 被保険者が市役所、支所連絡所で、国民年金印紙を買い手帳に貼って検認（消印）を受けた。

▼四月からの取扱い 被保険者は、市役所の発行する国民年金保険料納付書で市が指定の金融機関または

代理金融機関（銀行、信用金庫など）の身近な所へ保険料をすぐ納められる。

▼納期：▽第一期 四・五・六月份は、六月二十五日まで ▽第二期 七・八・九月份は九月二十五日まで ▽第三期 十・十一・十二月份は十二月二十五日まで ▽第四期 一・二・三月份は三月二十五日まで

し尿取りの時にはこんな注意を

- (1) し尿取りの際には必ず車の後部にあるメーターを見て数量を確認して下さい。
- (2) 料金を支払った時は必ず受領書を受取して下さい
- (3) 料金は次のとおりです。
三六立（二斗）につき三九円です。 三六〇立（二石）ですと三九〇円となります。
この方法で計算して下さい。

配分フィルムをご利用下さい

県視聴覚ライブラリーから三、四月の配分フィルムが公民館に届きました。利用期間は四月二十四日まで利用の際は早めに市公民館にお申込み下さい。

▽ゆたかな学習 二巻十八分 ▽働きにきた少女 三巻二十六分 ▽子牛と若夫婦 三巻二十六分 ▽主婦の時間割 二巻十八分 ▽こぶとりじいさん 一巻九分 ▽息子日記 三巻二十七分 ▽あるサークル活動 三巻三十二分 ▽成人病回答 三巻十六分
▽夢路より 二巻十六分。

農事メモ

種籾の準備

冷気味であるというから昨年のようなことのないよう種籾の準備をしたいものです。

まだ、暖候期の長期予報が発表されていませんが、今までの予報からみると、春は順調に経過するようだが晩霜の懸念があります。梅雨期は不じゆん気味の天候が予想され、盛夏期後に早キ、トヨチカラ、越路早

一、適品種の選択 フジミノリ、ササシゲレ、セキミノリを主体品種として、あまり多くの品種を組合わせないよう

二、自家用種籾の再確認 昨年の長雨のため穂発芽が五〜一〇%みられましたので種籾の量を多目に確保して下さい

自動車文庫が運行します

今年もいよいよ自動車文庫第一回の運行を左記の日程で開始します。ご利用下さい。

△四月六日（火）一箕Aコース、下居合―居合―郷ノ原―藤原―松窪B―松窪A―長原―北柳原△七日（水）一箕Bコース、鈴木―駅前区―上登養―八角―北龍沢―八幡―暮料△九日（金）東山、一箕コース。金堀―石山△十日（土）大戸Bコース。開川―上小堀―引下―芦ノ牧―舟子―桑原△十一日（火）町北、高野Aコース、屋敷―下荒久田―中前田―下柳原―平塚―上沼―中、下沼木―上沼木△十四日（水）町北、橋野Bコース、平沢―中ノ明 藤室―上荒久田―鶴沼―下高野―上高野△十六日（金）町北、高野Cコース、高久―下吉田―上吉田―中地―界沢―森台―西木流―木流橋本△十七日（土）湊Aコース、打越―切―草―経沢―赤井―四ツ谷（以下は次回）

国民宿 名前をつけ下さい

昭和40年5月9日（母の日）当口消印有効

昭和40年5月10日

審査後「市政だより」および本人に通知
市長ほか市職員、市議会議員、市内有識者ほか。

①入選作1点―本人および同居の家族を国民宿舎に1泊招待

②佳作5点―本人を国民宿舎に1泊招待

③参加賞―応募者から抽籤により

10名に5割引利用券

本市在住者に限る

①表に「国民宿舎」愛称応募名称〇〇と書いて×切日まで郵送または市企画課に提出すること。ハガキまたはハガキ大の表に市役所企画課と住所、氏名、年令、職業を記 ②用紙1枚につき1つの名称を記入すること。ただし枚数は記入しない。

①未発表のもので他に類似しないものであること

②文字はひらがなまたは

当用漢字を用い、難解な文字はさけること

③同一名称の場合は抽選によ

って決定する。

- 切期日
- 審査期日
- 発表
- 審査員
- 表彰

- 応募資格
- 応募方法

●注意

